

## 第2部のお知らせ

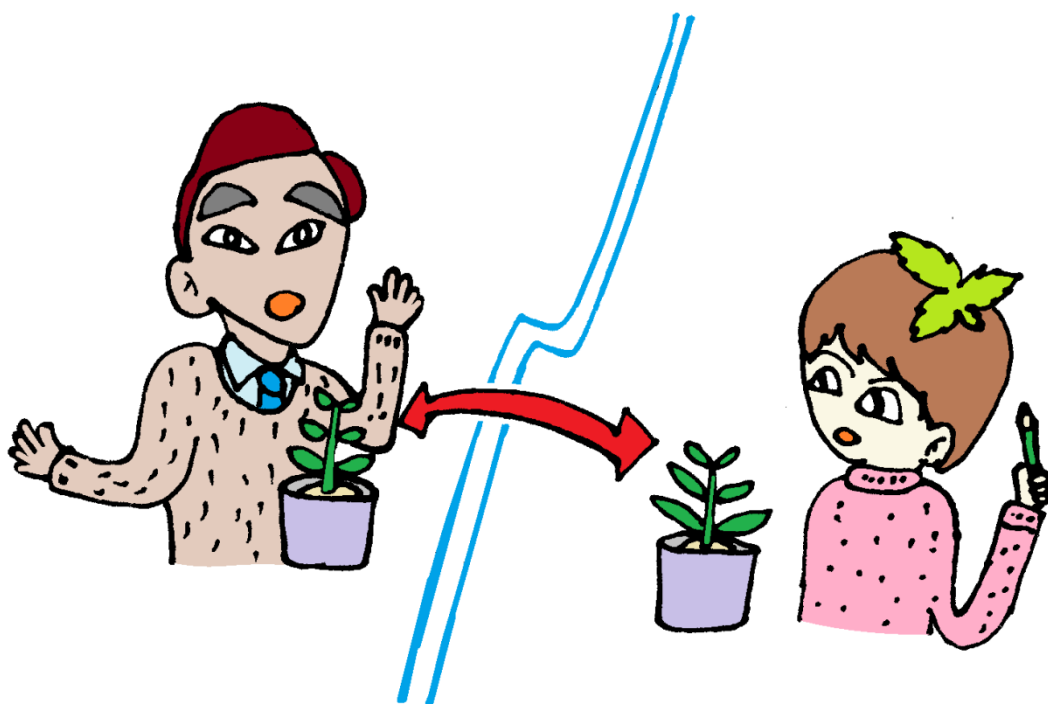
冬の朝のできごと



「エイミー、聞こえるか？」

「・・・だ、だれ・・・？」

エイミーは少し寝坊した土曜日のまだ陽が昇る前の朝でした。こころの木が誰かから話があることを告げ光っていました。



「わ、わたしだ。大統領だっ！」

「だ、大統領？」

エイミーはマロン村小学校を9月に卒業しマロン村中学校に進学していました。バーバラとトミーもいっしょです。あの7月のデビルビー事件から半年が経った1月の事でした。

「どうしたのですか？」

「実は我々では手に負えない事態が起こりそうなんだ」

「なにがあったのですか？」

「ナメリアとヤパンで深海を調べていたんだが、プレートの異常が見つかった。スーパープルームが地表近くに来て大噴火が起こる可能性がある」

「スーパープルーム？大噴火？」

「ナメリアでもヤパンの最新の深海艇でも行けないんだ」

大統領の声は焦って聞こえます。

「だ、大統領、落ち着いて話してください」

「深海艇ってなんのことですか？」

「深海に潜る船のことだよ。我々の深海艇では異常個所が調べられないんだ」

「わたしにどうすればっていうのでしょうか？」

「フレンズに連絡を取ってほしい。生身でマッハで飛ぶフレンズ達だ。何かいい知恵があるに違いない」

「わ、わかりました」

エイミーたちはデビルビーの事件の後7月4日の独立記念日に大統領に招待されました。それからちょうど6か月が経ち冬休みも終わった土曜の朝でした。

「さっそく出かけるか？」

エイミーは大統領から送られた自転車に乗りバーバラとトミーの家に向かいました。

「中学になってもいそがしいわね」

エイミーはバーバラの家のドアをノックしました。

第2部は海の物語です。1万メートルを超える深海に潜って行かなければいけません。そんなことはヒューマンではできません。たとえロボットを使ってもです。

そこでまたフレンズが活躍します。なにしろマッハで飛ぶ生命体です。今度もまた困難に立ち向かい、それをやり遂げてくれるのでしょうか？

第2部ではヤパン国とナメリア合衆国が共同でヤパン海溝の探検に挑みます。ヤパン国からはドクターハラがこころの木と共にご案内しますよ。



## 新しい登場人物

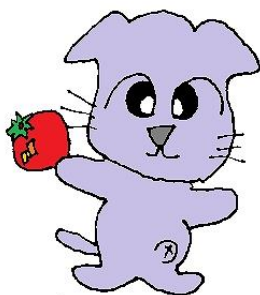
バグズだけでは手に負えないようです。アニマルズやバーズも登場し一致団結して事件に立ち向かいます。

海ならミーにまかせ  
るニャー



がちゃ

あたいは海を潜  
るのが得意よ!



ちびら

ワシは驚じゃない  
ぞ! フクロウじゃ!



ふーすけジィ

そういえば、この物語は遠い宇宙の別の惑星のお話でしたね。でもわたしたちの地球も荒ぶる父といわれます。ある時は凍

りついた白い雪の玉になったり、またある時は灼熱の火の玉になったりもしたそうです。

たとえそうしたことがあっても、わたしたち生命は命をつないできました。第2部ではこの惑星チターの荒ぶる姿を垣間見ることになります。

## 子供のころを思い出す

アロマセラピスト 三田 智恵子

フレンズ=お友達。不思議な雑木林から始まり・・・

そういえば、子供の頃に弟や幼馴染たちとよく裏山へ探検に行ったことを思い出した。ワクワク♪ドキドキ♪初めて行く場所へ入るときは、何が出てくるのか分からない恐怖心とそれを上回る好奇心が溢れていた。名前を知っている雑草や野菜などが植わっていると、一緒にいるうちの誰かが説明してくれたり、その雑草での遊び方などを伝授してくれたりして、あっという間に日が暮れたものだ。

だいたい、男女問わずバーバラのような虫嫌いで怖がりの子もいたものだ。エイミーやトミーのような子もいた。それぞれ個性があって、それを協調し合ったり、たまには反発したりしながら、成長してきたのだと、しみじみ当時を思い返す。こんな乗り物があったら楽しいだろうな♪あんな生き物がいたらどうだろう？などいろいろ空想もした。インパクトがあって表情豊かな絵も楽しい。

でもフレンズの絵本の読者には、ぜひ思いっきりフレンズの世界に入って、一緒に冒険して欲しい。それも、ひとりではなくフレンズたちと一緒に冒険して、ピンチを乗り越えたり、いろいろな人の出逢いがあったり、歓喜するような場面に出くわしたりすることを共有できるということはどんなに楽しいことだろう。

ふあーちゃん（猫）と智恵子さん



## プロフィール

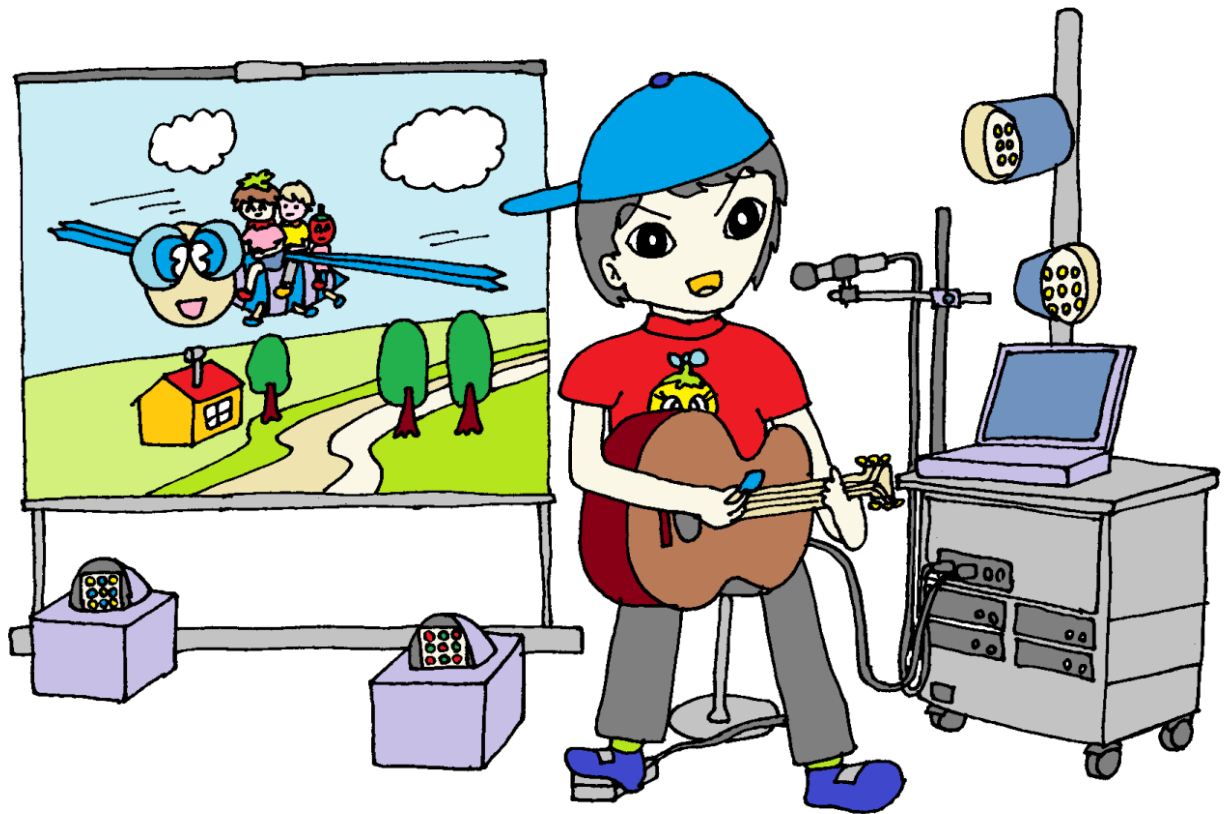
2011年に入り体が急に異変に襲われます。2月の頸椎症に始まり10月には腎臓の結石による急性腎不全が起こり、結果的に左右の腎臓で4個の結石を砕く間にも炎症を起こし、2012年の4月にほぼ石を除去したものの、細胞がやられてしまい、慢性腎不全となってしまいました。腎臓の機能は既に左右を合わせても20%を切ってしまいました。10%を下回ると人工透析となってしまいます。

そんななかでなぜかこのファンタジーストーリーの創作意欲が湧きこのライトノベルとなりました。この間半年となりますが、ライトノベルに必要なイラストを350カット、元々はミュージカルにしたかっただけに10曲以上の歌も用意しました。その歌を近いところで披露したりしていたのですが、一人ミュージカルでもどうかと言うことになり、朗読と歌なのですが、やってみることにしました。

ここに来てエレクトロニクス、プログラマー、物書きに絵と音楽が加わり近代五種競技となりました。なぜ突然ファンタジーを書くのか？なぜ突然若い時のような音楽や絵を描いたのかは未だにわかりません。これからはこの「フレンズ」を皆さんの前で朗読しながら、いつかなぜ書いたのか、その答えを見つけたいと思います。

このイラストは「ひとりミュージカル」のアニメイラストですが、このなかで床に置いてある照明のような電子機器はボクのオリジナル設計です。日本製のCPUの組み込みマイコンに、TRON（トロン）というこれも純日本製のOS（オペレーションシステム）が搭載されて動作しています。

エンジニアは30年仕事としてやっているもので、これが一番、得意なものかもしれませんね。でもこうしてファンタジーストーリーを世に出し、みなさんとはライブの中で「ひとりミュージカル」をやって行きますので、よろしく応援してください。





「フレンズ 第1部 フレンズワールドの危機」

第1話 後編

絵と文と歌 大岩 伸之



2013年1月5日 第1版 第1刷

印刷 株式会社伊藤美藝社製版所

発行 有限会社あんしん

発売 株式会社アイビーネット

TEL 052-991-2388 FAX 052-914-6064



